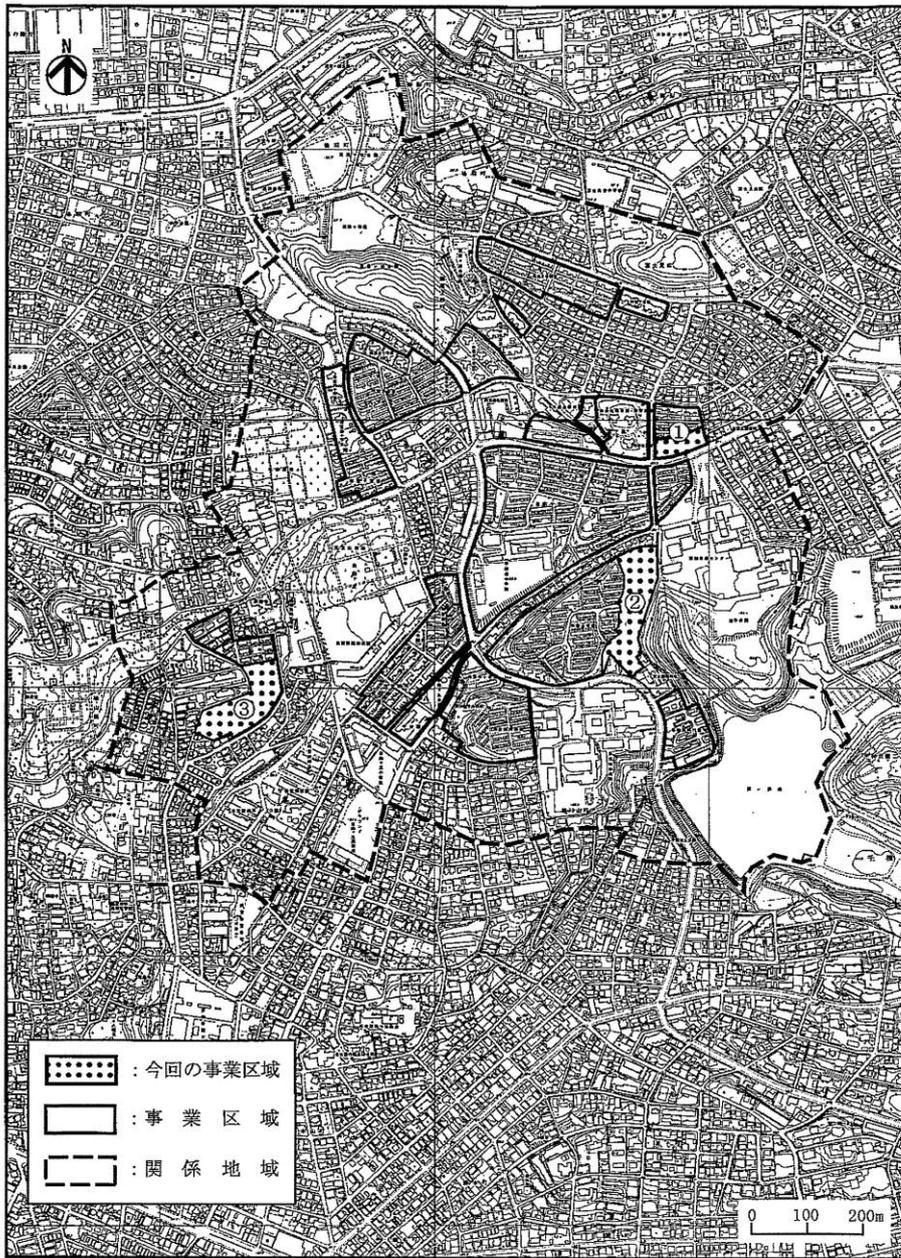


(12) 平成18年度 振動

事業実施場所



スケジュール（調査工程、調査日）

番号	場所・工種	年月 延べ月	平成18年												平成19年			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
①	東希望荘（2次）	基礎	■	■														
		躯体				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
②	金児荘（2期）	外構																
		造成					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
③	南田代荘	外構	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		調査時期				●	●				●				●			
	水質調査																	
	騒音・振動調査																	

注) 番号は、箇中番号に対応する。

調査した環境項目及び調査回数

環境要素	調査事項	調査回数	調査期間
水質	水素イオン濃度 (pH)	4回	平成18年7月、8月、10月、平成19年1月
	浮遊物質 (SS)		
騒音	工事騒音	3回	平成18年8月、10月、平成19年2月
振動	工事振動	3回	平成18年8月、10月、平成19年2月

振動の調査時期

調査時期	番号	対象団地名	工種
平成18年8月29日	①	東希望荘（2次）	地上躯体工事
平成18年10月13日	②	金児荘（2期）	造成工事
平成19年2月1日	①	東希望荘（2次）	外構工事

注) 番号は、箇中番号に対応する。

(12) 平成18年度 振動

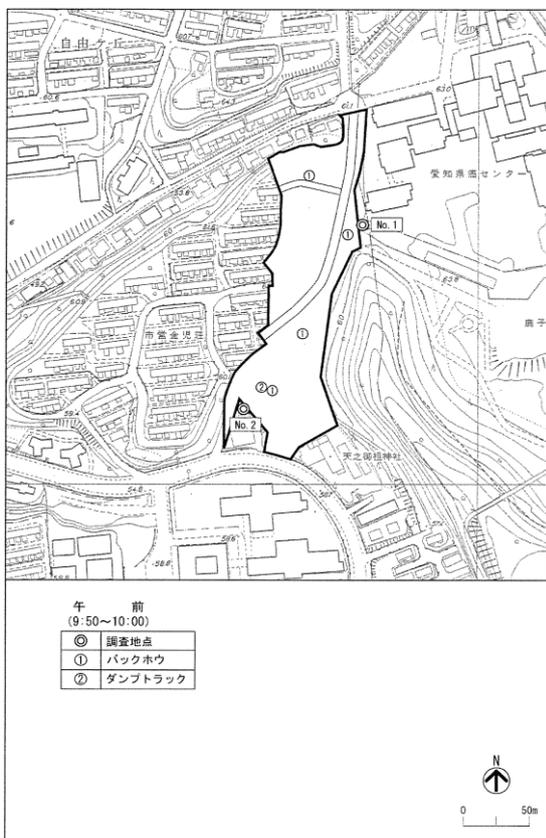
調査場所及び工事機械配置図



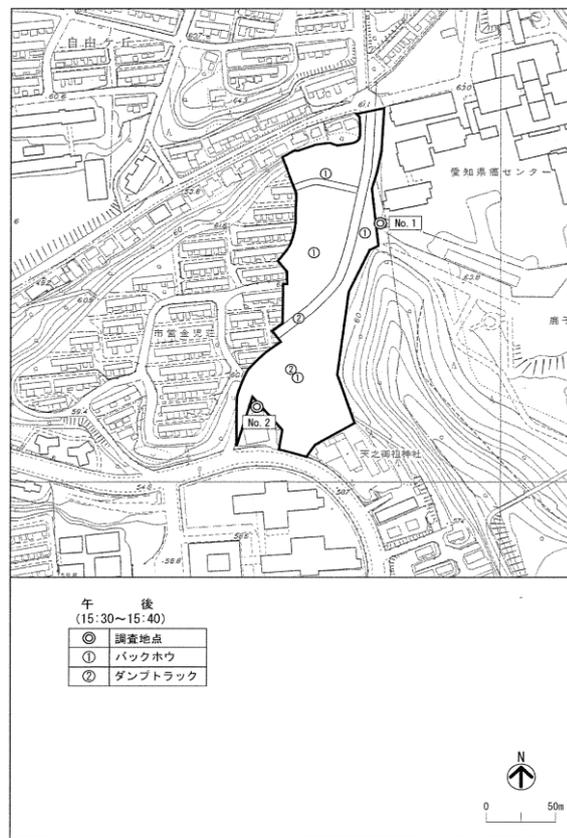
東希望荘(2次) (地上躯体工事 午後)



東希望荘(2次) (地上躯体工事 午前)



金児荘(2期) (造成工事 午前)



金児荘(2期) (造成工事 午後)

(12)平成18年度 振動

調査場所及び工事機械配置図



東希望荘 (2次) (外構工事 午前)



東希望荘 (2次) (外構工事 午後)

(12)平成18年度 振動

調査結果（工事振動）

工事振動の調査結果（東希望荘（2次）地上躯体工事）
（単位：dB）

調査地点	時間帯	調査結果 (L ₁₀)		規制基準値 (L ₁₀)
		工事振動	暗振動	
No.1	午前	34	32	75
	午後	32	31	
No.2	午前	45	43	
	午後	44	45	

注)1:工事振動は作業時、暗振動は作業前又は作業終了後に測定した数値である。
2:振動レベルの測定下限値は30dBである。
3:No.2の午後は、工事振動より暗振動が高い値となったが、これは測定地点が県道に面しており、自動車振動の影響をより強く受けたためであった。

工事振動の調査結果（東希望荘（2次）外構工事）
（単位：dB）

調査地点	時間帯	調査結果 (L ₁₀)		規制基準値 (L ₁₀)
		工事振動	暗振動	
No.1	午前	36	34	75
	午後	37	32	
No.2	午前	47	49	
	午後	47	45	

注)1:工事振動は作業時、暗振動は作業前又は作業終了後に測定した数値である。
2:振動レベルの測定下限値は30dBである。
3:No.2の午前は、工事振動より暗振動が高い値となったが、これは測定地点が県道に面しており、自動車振動の影響をより強く受けたためであった。

工事振動の調査結果（金児荘（2期）造成工事）
（単位：dB）

調査地点	時間帯	調査結果 (L ₁₀)		規制基準値 (L ₁₀)
		工事振動	暗振動	
No.1	午前	42	31	75
	午後	39	<30	
No.2	午前	37	<30	
	午後	38	<30	

注)1:工事振動は作業時、暗振動は休憩時に測定した数値である。
2:振動レベルの測定下限値は30dBである。

工事振動調査結果

各調査時期における工事振動（暗振動を含む:L₁₀）は、全て規制基準値である75dBを下回った。

工事振動調査結果一覧表（資料編）

調査日：平成18年8月29日

対象団地名	時間帯	使用工事機械種及び台数	調査結果(単位：dB) (1段：工事振動 下段：暗振動)						規制基準値 (dB) (敷地境界上)	
			No.1			No.2				
			L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀		
東希望荘(2次)	午前	作業中 9:50~10:00 コンクリートポンプ車 コンクリートミキサー車	2	34	<30	<30	45	39	30	75
		休憩中 7:35~7:45	-	32	<30	<30	43	36	<30	
	午後	作業中 15:30~15:40 コンクリートポンプ車 コンクリートミキサー車	2	32	<30	<30	44	37	<30	
		休憩中 17:35~17:45	-	31	<30	<30	45	35	<30	

注) 振動レベルの測定下限値は30dBであり、「<30」は測定下限値未満を表す。

調査日：平成18年10月13日

対象団地名	時間帯	使用工事機械種及び台数	調査結果(単位：dB) (1段：工事振動 下段：暗振動)						規制基準値 (dB) (敷地境界上)	
			No.1			No.2				
			L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀		
金児荘(2期)	午前	作業中 10:35~10:45 バックホウ ダンプトラック	4	42	30	<30	37	<30	<30	75
		休憩中 11:00~11:10	-	31	<30	<30	<30	<30	<30	
	午後	作業中 13:40~13:50 バックホウ ダンプトラック	4	39	30	<30	38	<30	<30	
		休憩中 14:55~15:05	-	<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注) 振動レベルの測定下限値は30dBであり、「<30」は測定下限値未満を表す。

調査日：平成19年2月1日

対象団地名	時間帯	使用工事機械種及び台数	調査結果(単位：dB) (1段：工事振動 下段：暗振動)						規制基準値 (dB) (敷地境界上)	
			No.1			No.2				
			L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀		
東希望荘(2次)	午前	作業中 9:45~9:55 バックホウ	4	36	33	<30	47	40	34	75
		休憩中 7:50~8:00	-	34	<30	<30	49	40	<30	
	午後	作業中 15:50~16:00 バックホウ ブルドーザ	3	37	<30	<30	47	41	34	
		休憩中 18:10~18:20	-	32	<30	<30	45	33	<30	

注) 振動レベルの測定下限値は30dBであり、「<30」は測定下限値未満を表す。

(13)平成20年度 振動
資料-3 中十字荘跡地文化教育施設建設事業に係る騒音振動調査
事業実施場所



(13)平成20年度 振動

資料-3 中十字荘跡地文化教育施設建設事業に係る騒音振動調査
スケジュール (調査工程、調査日)

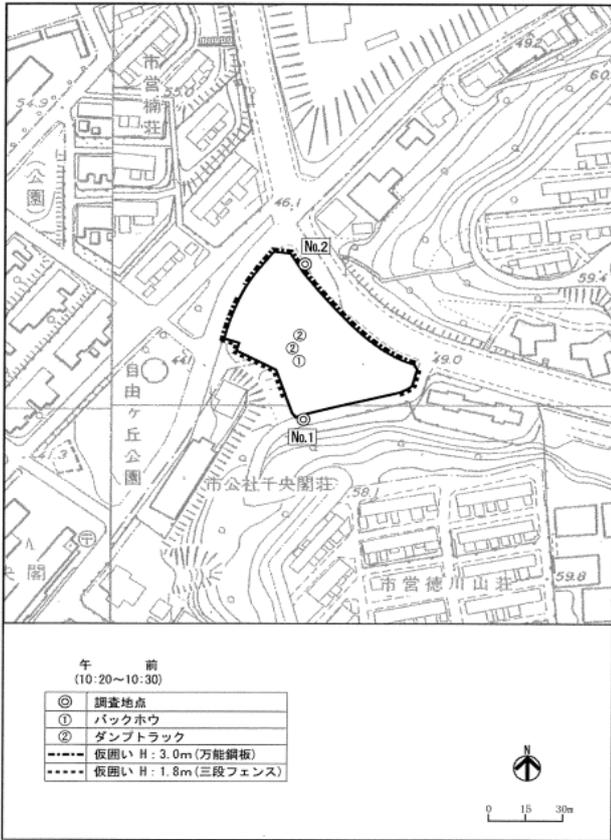
場所・工種	年月 延べ月	平成20年										平成21年					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
中十字荘跡地 文化教育施設	除 却																
	基 礎																

振動の調査時期

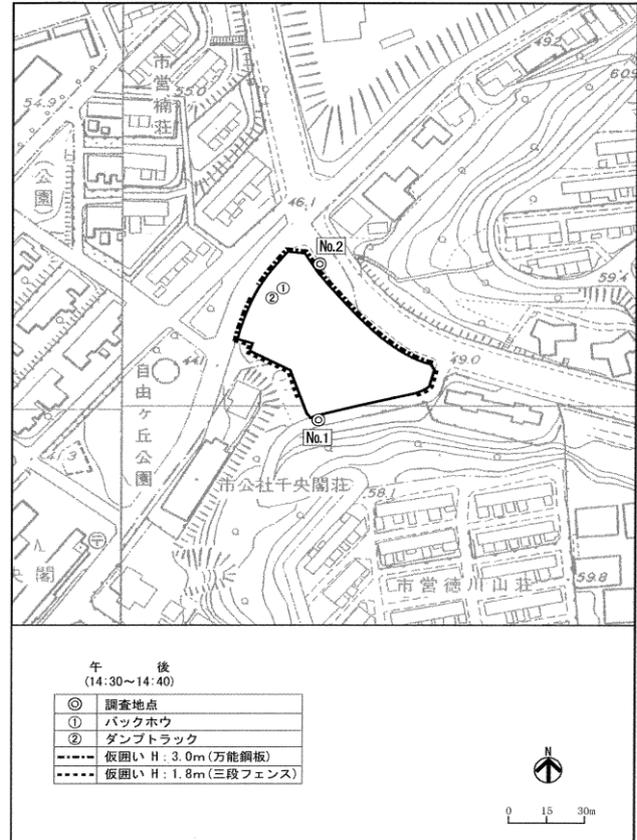
環境要素	調査事項	調査期間	工 種
騒 音	工事騒音	平成 21 年 3 月 11 日	除却・基礎工事
振 動	工事振動		

(13)平成20年度 振動

資料-3 中十字荘跡地文化教育施設建設事業に係る騒音振動調査
調査場所及び工事機械配置図



中十字荘跡地文化教育施設 (除却・基礎工事 午前)



中十字荘跡地文化教育施設 (除却・基礎工事 午後)

(13)平成20年度 振動

資料-3 中十字荘跡地文化教育施設建設事業に係る騒音振動調査
調査結果 (工事振動)

工事振動の調査結果 (文化教育施設 除却・基礎工事)

(単位: dB)

調査地点	時間帯	調査結果 (L ₁₀)		規制基準値 (L ₁₀)
		工事振動	暗振動	
No.1	午前	37	<30	75
	午後	37	<30	
No.2	午前	42	35	
	午後	52	34	

工事振動調査結果

各調査時期における工事振動 (暗振動を含む:L₁₀) は、全て規制基準値である75dBを下回った。

注)1:工事振動は作業時、暗振動は休憩時に測定した数値である。

2:振動レベルの測定下限値は30dBである。

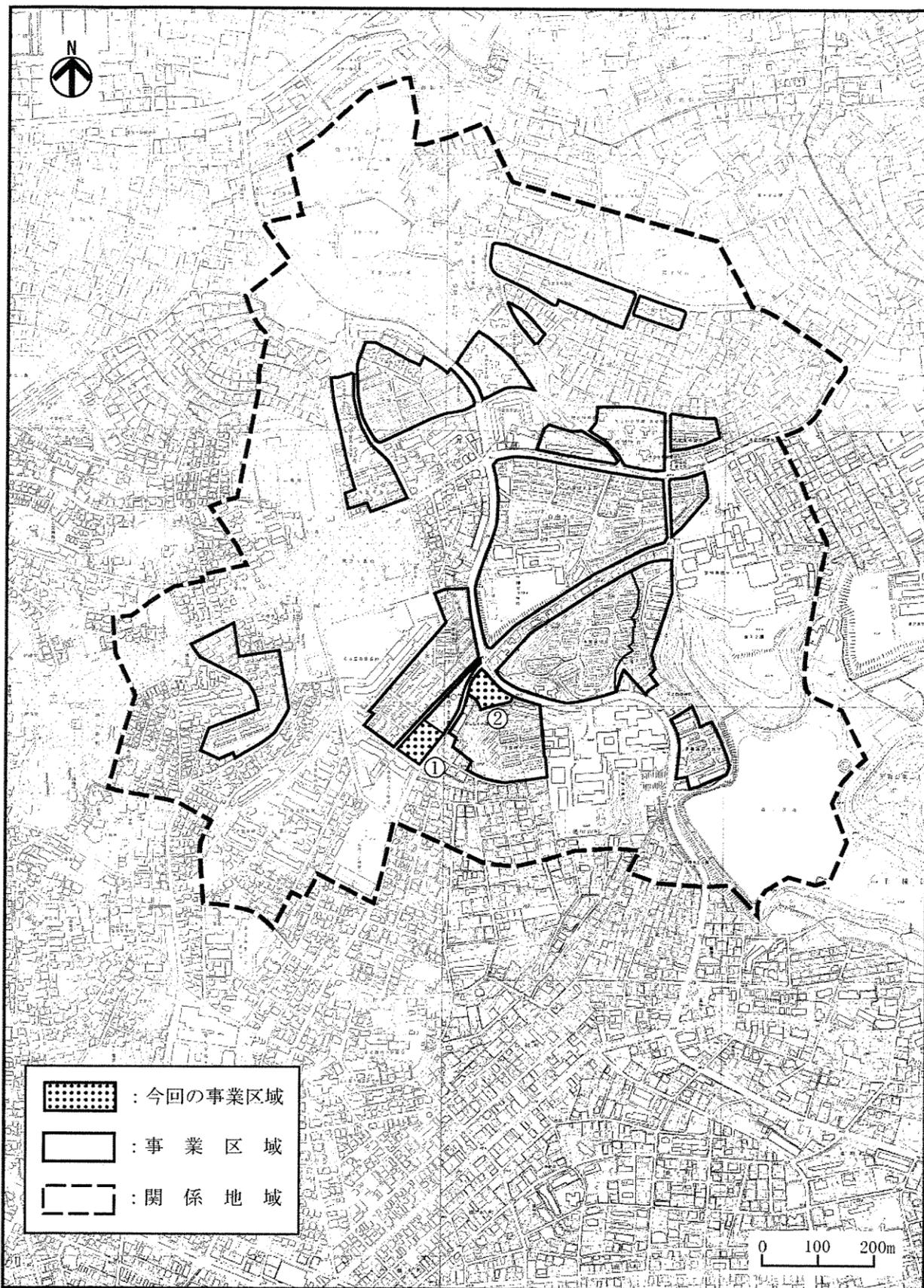
工事振動調査結果一覧表(資料編)

調査日:平成21年3月11日

対象団地名	時間帯	使用工事機械種及び台数	調査結果 [dB] (上段:工事振動 下段:暗振動)						規制基準値 [dB] (敷地境界上)		
			No.1			No.2					
			L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀			
文化教育施設	午前	作業中 10:20 ~ 10:30	バックホウ ダンプトラック	1 2	37	32	<30	42	37	32	75
		休憩中 9:50 ~ 10:00	-	-	<30	<30	<30	35	<30	<30	
	午後	作業中 14:30 ~ 14:40	バックホウ ダンプトラック	1 1	37	<30	<30	52	45	35	
		休憩中 15:00 ~ 15:10	-	-	<30	<30	<30	34	<30	<30	

注) 振動レベルの測定下限値は30dBであり、「<30」は測定下限値未満を表す。

事業実施場所



(14)平成21年度 振動

スケジュール（調査工程、調査日）

番号	場所・工種	年月 延べ月	平成21年									平成22年				
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
①	千央閣	外 構	■	■	■											
②	中十字荘跡地 文化教育施設	基 礎	■	■	■	■										
		軀 体					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
調査	水質調査				●	●			●		●					
時期	騒音・振動調査		●	●												

調査した環境項目及び調査回数

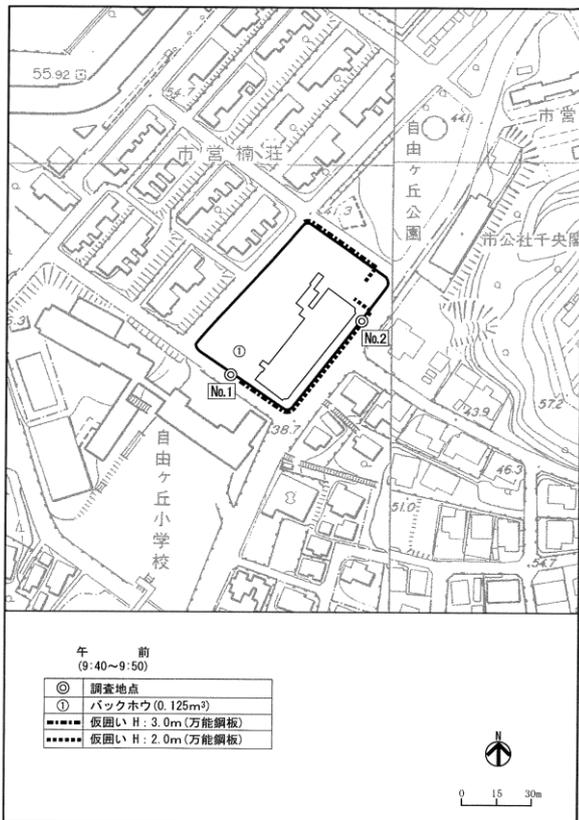
環境要素	調 査 事 項	調査回数	調 査 期 間
水 質	水素イオン濃度 (pH) 浮遊物質質量 (SS)	4 回	平成 21 年 7 月、8 月、11 月、 平成 22 年 1 月
騒 音	工事騒音	2 回	平成 21 年 5 月、6 月
振 動	工事振動	2 回	平成 21 年 5 月、6 月

振動の調査時期

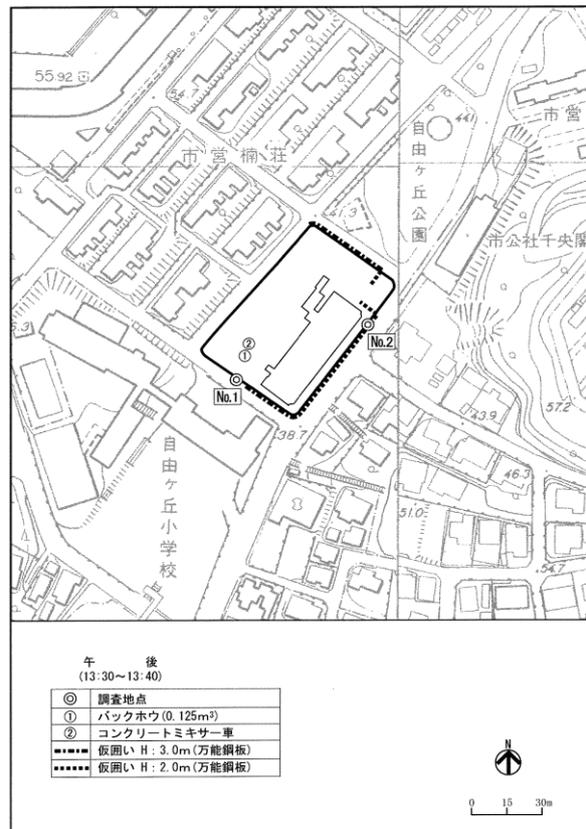
調査時期	番号	対象施設名	工 種
平成 21 年 5 月 26 日	①	千央閣	外構工事
平成 21 年 6 月 9 日	②	中十字荘跡地 文化教育施設	基礎工事

(14)平成21年度 振動

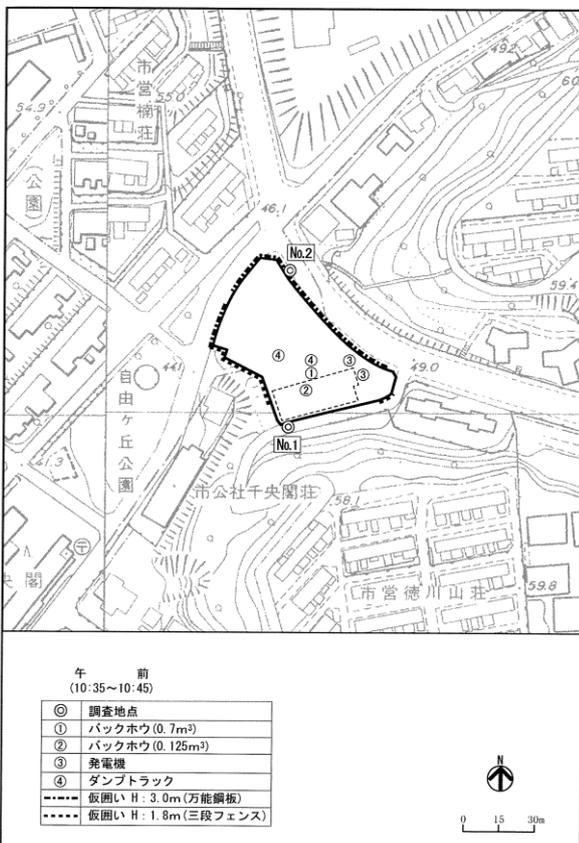
調査場所及び工事機械配置図



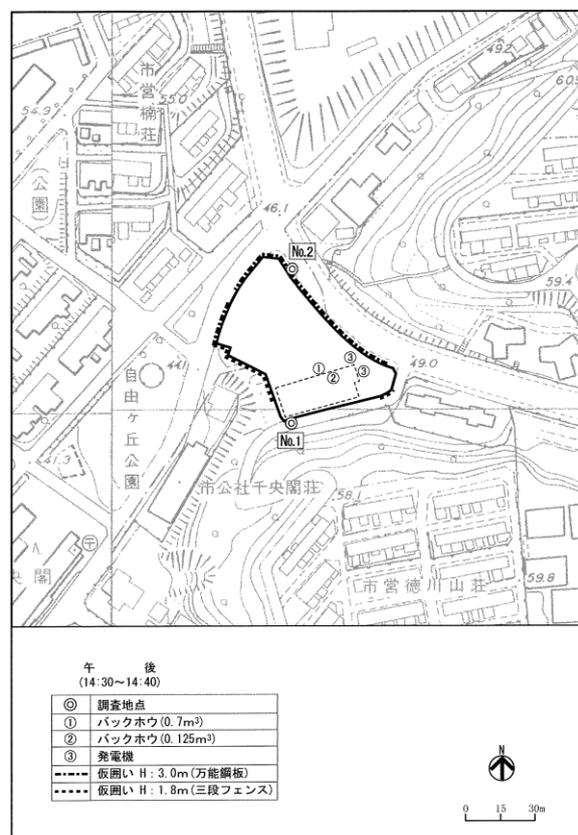
千中央閣 (外構工事 午前)



千中央閣 (外構工事 午後)



中十字荘跡地文化教育施設 (基礎工事 午前)



中十字荘跡地文化教育施設 (基礎工事 午後)

(14)平成21年度 振動

調査結果（工事振動）

工事振動の調査結果（千央閣:外構工事）

(単位:dB)

調査地点	時間帯	調査結果(L ₁₀)		規制基準値
		工事振動	暗振動	
No.1	午前	37	32	75
	午後	40	31	
No.2	午前	38	36	
	午後	36	36	

工事振動調査結果

各調査時期における工事振動（暗振動を含む:L₁₀）は、全て規制基準値である75dBを下回った。

注)1:工事振動は作業時、暗振動は休憩時に測定した数値である。
2:振動レベルの測定下限値は30dBである。

工事振動の調査結果（文化教育施設:基礎工事）

(単位:dB)

調査地点	時間帯	調査結果(L ₁₀)		規制基準値
		工事振動	暗振動	
No.1	午前	36	<30	75
	午後	35	<30	
No.2	午前	41	35	
	午後	38	34	

注)1:工事振動は作業時、暗振動は休憩時に測定した数値である。
2:振動レベルの測定下限値は30dBである。

工事振動調査結果一覧表（資料編）

調査日：平成21年5月26日

対象施設名	時間帯	使用工事機械種及び台数	調査結果[dB]（上段：工事振動 下段：暗振動）						規制基準値 [dB] (敷地境界上)	
			No.1			No.2				
			L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀		
千央閣	午前	作業中 9:40～9:50 バックホウ(0.125m ³)	1	37	30	<30	38	33	<30	75
		休憩中 10:35～10:45	-	32	<30	<30	36	32	<30	
	午後	作業中 13:30～13:40 バックホウ(0.125m ³) コンクリートミキサー車	1 1	40	30	<30	36	30	<30	
		休憩中 14:35～14:45	-	31	<30	<30	36	30	<30	

注)振動レベルの測定下限値は30dBであり、「<30」は測定下限値未満を表す。

調査日：平成21年6月9日

対象施設名	時間帯	使用工事機械種及び台数	調査結果[dB]（上段：工事振動 下段：暗振動）						規制基準値 [dB] (敷地境界上)	
			No.1			No.2				
			L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀		
文化教育施設	午前	作業中 10:35～10:45 バックホウ(0.7m ³) バックホウ(0.125m ³) 発電機	1 1 2	36	31	<30	41	35	30	75
		ダンプトラック	2							
	午後	作業中 14:30～14:40 バックホウ(0.7m ³) バックホウ(0.125m ³) 発電機	1 1 2	35	30	<30	38	31	<30	
		休憩中 15:00～15:10	-	<30	<30	<30	34	<30	<30	

注)振動レベルの測定下限値は30dBであり、「<30」は測定下限値未満を表す。

4. その他

各年度の工事中における周辺住民からの苦情内容と対処方法は、表 7-7 に示すとおりである。

表 7-7(1) 工事中の苦情及び対処方法

年 度	事業区域	工 種	内 容	対処方法
平成 3 年度については、周辺住民からの苦情はなかった。				
平成 4 年度	北希望荘	躯体工事 外構工事	北希望荘南側 TV 障害	UHF 電波は、反射波を利用して北側から受信していたが、建物が建設されたため障害が生じた。そのため、CCTV により解決した。
			北希望荘北側道路の汚れ	タイヤの水洗い、道路の清掃を徹底する。
平成 5 年度、平成 6 年度については、周辺住民からの苦情はなかった。				
平成 7 年度	霞ヶ丘荘 (千有荘・ 北十字(西)荘)	除却工事	振動とほこりがひどい (2 件)	振動防止に配慮して作業を行い、ほこりについては散水に努めた。
			ほこりがひどいのと仮囲いを高くしてほしい	要望に沿い、仮囲いを高くした。 (仮囲いは 5.4m から 10m とした)
			通学路を確保してほしい (説明会において)	工事前に仮設通路を設置した。
			騒音がひどい	規制基準を十分満たしているが、騒音防止に配慮して施工した。
		造成工事	振動がある	規制基準を十分満たしているが、振動防止に配慮して施工した。
平成 8 年度	霞ヶ丘荘 (千有荘・ 北十字(西)荘)	躯体工事	振動がひどい。(3 件)	規制基準を十分満たしているが、より注意して施工した。
			工事開始時刻よりも早く現場に到着した工事車両のエンジンをかけたまま待機させないでほしい。	工事車両が現場内で待機する場合は、エンジンを停止するよう指導した。
			現場内の土砂で道路を汚さないでほしい。	道路の清掃を行うようにした。
			大型車両の出入りについては、朝夕の渋滞時間や学童の登校時間を避けるとともに、一般道路での待機をさせないでほしい。	大型車両の出入りについては、登校時間帯を避けるとともに歩道スペースの確保など安全対策に努めている。 なお、一般道路での工事車両の待機についてははしないよう指導した。

表 7-7(2) 工事中の苦情及び対処方法

年 度	事業区域	工 種	内 容	対処方法
平成 9 年度	霞ヶ丘荘 (千有荘・北十字(西)荘・西十字荘)	本体工事	工事車両のエンジンをかけたまま待機させている。 (1 件)	工事車両が現場内で待機する場合は、エンジンを停止するよう指導した。
		外構工事	ほこりがひどい。(2 件)	水をまく等してほこりがたたないようにした。
平成 9 年度 2 次	霞ヶ丘荘 (千有荘・北十字(西)荘・西十字荘)	造成工事	ほこりがひどい。(3 件)	散水に努めた。
			工事開始時刻よりも早く現場に到着した工事車両のエンジンをかけたまま待機させないで欲しい。	工事車両が現場内で待機する場合は、エンジンを停止するよう指導した。
平成 10 年度	霞ヶ丘荘 (旧西十字荘)	本体躯体	夜間における雨水排水のための水中ポンプの音がうるさい。(2 件)	夜間については水中ポンプを稼働させないようにした。
			作業終了後の回転灯の消し忘れがあった。(1 件)	消し忘れがないよう指示した。
			近隣民家でサッシのゆがみがあった。(1 件)	サッシのゆがみの原因は不明であったが、修理した。
平成 11 年度	はざま荘 (旧はざま荘・旧新十字荘)	本体躯体	工事開始時刻よりも早い時間から作業をしており、音がうるさい。(1 件)	就業開始時間を守るよう指導した。
			昼間の休憩時間にもかかわらず、重機等で作業しており音がうるさい。(1 件)	昼間の休憩時間については、必要がない限り作業をしないよう指導した。
平成 12 年度	金児荘 (旧金児荘・旧中十字荘)	除却工事	解体中のほこりがひどい。 (1 件)	散水の徹底と事前に近隣住民への予告を行った。
平成 13 年度	北十字荘	本体除却	解体中のほこりがひどい。	散水の徹底を行った。
	東田代荘	本体除却	解体中のほこりがひどい。	散水の徹底を行った。
	千種台中学校	本体除却	解体中のほこりがひどい。	散水の徹底を行った。
	千種台中学校	本体除却	工事車両により渋滞する。 (4 件)	工事車両の路上停車を避けるよう指導を行った。
平成 14 年度	北十字荘	仮設工事 本体躯体	敷地東の歩道を歩行中の通行人に、コンクリートのしぶきがかかった。	コンクリート打設時には、シートを高く隙間なく設置し、歩道にガードマンを配置し、歩行者の誘導を行った。

表 7-7(3) 工事中の苦情及び対処方法

年 度	事業区域	工 種	内 容	対処方法
平成 14 年度	はざま荘	仮設工事 基礎工事	工事車両の走行によるほこりがひどい。	散水の徹底を行った。
		仮設工事 本体躯体	工事開始前の早朝に、駐車中の工事車両のエンジン音がうるさい。	非作業時にはエンジンを止めるように指導を行った。
	金児荘	仮設工事 本体躯体	大雨時に、北側斜面から泥水が流れてくるのを止めて欲しい。	泥水流れ止め土嚢を積み上げ、場内には側溝掘りをするように指導を行った。
平成 15 年度	はざま荘 2 次	本体躯体 外構工事	土埃がひどく、子供が小児喘息のため、対応をしてほしい。	強風時には、散水を行うよう指導した。
	センター地区	本体躯体	スラブ型枠解体時の騒音がうるさい。	解体時の鋼管材の扱いには、特に注意するよう指導した。
			ハツリ作業の騒音とコンクリートミキサー車からの排気ガスについて苦情があった。	エアカッターの作業を中止させるとともに、現場内におけるコンクリートミキサー車の待避場所を、近隣住宅からできる限り遠くに移動させ、エンジンをふかさないうよう指導した。
	東岳荘	除却工事	工事車両の出入りに伴い、道路が汚れている。	工事車両のタイヤ洗浄の徹底及び適宜道路の確認・清掃を行うよう指導した。
	楠北・南棟	基礎工事	石積み擁壁施工時において、建設機械の振動と騒音がうるさい。	振動と騒音に注意して作業を行うよう指導した。
	南・中田代荘	除却工事	解体作業の音がうるさい。	防音シートの高さの変更を指示した。
			工事車両と通学路が交錯する部分の安全対策をしてほしい。	通学時間及び工事車両の出入り時には、誘導員を配置するよう指示した。
徳川山・中十字荘	除却工事	外周シート養生が不十分で、埃が多い。	工事車両の出入口において、シート養生が不十分な箇所については、作業中の閉鎖を指示した。	
		解体の埃対策をしてほしい。シート養生がなされていない部分がある。	解体作業時には、十分な散水の徹底を指示した。	

表 7-7(4) 工事中の苦情及び対処方法

年 度	事業区域	工 種	内 容	対処方法
平成 15 年度	徳川山・ 中十字荘	除却工事	外周シート養生が低くなり、埃や騒音がひどくなった。	台風が接近したため、強風における安全対策上、外周防音シートを一時的に下げた状態であったため、外周防音シートが復元するまで、解体作業の中止を指示した。
	千北荘	除却工事	埃が多い。	十分な散水を行うよう指示した。
	北十字荘 2	除却工事	埃や騒音対策として、防音シートの高さを上げられないのか	防音シートの高さを上げるよう指示した。
			解体に伴う埃の中で、自動車を洗車した。工事開始時は、防音シートが高かったが、今は低い。防音シートの撤去が早いのではないのか。	建物の解体作業に伴い、安全対策上、順次防音パネルを撤去していることを説明した。
			停車中のトラックが、エンジンをかけている。名古屋市の環境政策と矛盾している。また、ダンプトラックの積載が、過積載ではないのか。	エンジンの停止、過積載の点検を指示した。
	東希望荘	除却工事	解体に伴う埃や振動が大きい。外周シートの上部が撤去され、低くなった。	外周シート養生の設置状況について、一部先行して撤去された部分があったため、解体作業を中止させ、洋上復元を指示した。さらに、十分な散水を行うとともに、不用意な振動を避けるよう指示した。
平成 16 年度	徳川山・ 中十字荘	基礎工事	杭（アースドリル）施工による騒音に対する苦情があった。	ドリルバケットの土砂落下時に散水で対応するなど、施工時に注意を払った。
	東希望荘	基礎工事	杭鉄筋かご作成による溶接煙及び騒音に対する苦情があった。	同日先方へ電話をし、施工方法等を説明した。また、防音シート養生の対応を行った。

表 7-7(5) 工事中の苦情及び対処方法

年 度	事業区域	工 種	内 容	対処方法
平成 16 年度	東希望荘	躯体工事	敷地北側について、杭頭ハツリの騒音に対する苦情があった。また、工事車両出入口及び作業場所周囲の仮囲いの高さ（2 m）が低いと指摘を受けた。	敷地北側における仮囲いの高さを 2 m から 3 m に変更した。また、出入口付近は内側に防音シートを設置した。
平成 17 年度	南田代荘	基礎工事	杭打機の騒音及び排気ガスに対する苦情があった。	杭打機の換気エアフィルターを交換し、廃棄筒防塵ネットを取り付けた。仮囲い（防音シート）を設置した。
			工事騒音及び振動に対する苦情があった。	施工業者に対し、施工時、搬出時に最新の注意を払うよう指示。また、重機の位置を民家から遠ざけるように移動した。
			ポンプ車・ミキサー車の排気ガス、騒音及び振動に対する苦情があった。	先方に対し、理解を得られるよう、誠意を持って施工内容を説明した。
平成 18 年度～平成 22 年度については、周辺住民からの苦情はなかった。				
平成 23 年度、平成 24 年度については、本事業に係る工事は実施していない				

なお、保育園の日照問題の解消と老朽化への対応を考慮し、周辺住宅の建替えスケジュールを調整した。